

二度目は、私が求めました。

凄まじい暴行シーンが全米を衝撃で包んだ問題の秀作！



Starring ANNE HEYWOOD  
Directed by MARVIN CHOMSKY

**GOOD LUCK  
MISS WYCKOFF**  
Based on the novel by WILLIAM INGE



さながら ミスワイコフ



〈カラー作品〉  
日本ヘラルド映画

アン・ヘイワード/サルド・フレゼス/キャロリン・ジョーンズ/ロバート・ボーン/監督 マービン・チョムスキー/脚本 ボニー・ブラット/「ピクエック」「草原の輝き」のウィリアム・インゲ原作

# 不幸にあった時女性はどう生きるか

衝撃の映像の中に浮かび上がるテーマ

## さよならミスワイコフ

原作ウィリアム・インジ 監督マービン・チョムスキー  
カラー作品・アメリカ映画 日本ヘラルド映画

アメリカの中西部、カンサス州にフリーダムという小さな町があった。アメリカならどこにもある田舎町である。  
しかし、こういう町にこそ思いもかけないドラマは起るものなのだ。

主人公は、ミス・ワイコフ。ワイコフ先生と呼ばれる美しい女教師である。教師としての技量、実績ともにごうごう、なお、この保守的なフリーダムの町ではトップを争うほどの進歩的な考え方の持ち主なのである。

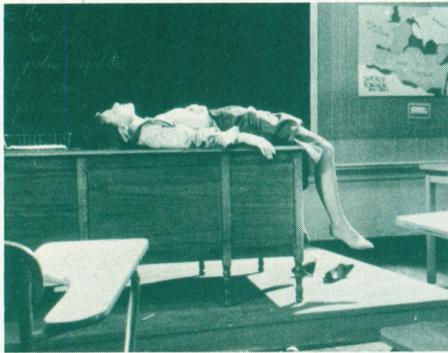
他人から見れば、完璧なこのキャリア・ウーマンも、実はその内面の孤独については誰も知る由がなかった。性の喜びや愛のぬくもりも含めて。

事件は晴天の霹靂のごとく起きた。放課後教室で事務をとるミス・ワイコフが黒人青年に暴行されたのである。抗うすべもなく、35才の処女は蹂躪された。

彼女が始めて知る「性」の世界だった。賢明な彼女は強い意志の力で、忘れようとする。しかしその青年は翌日も、ふてぶてしくも悪党の凶々しさを身体いっぱいに見わして教室に姿を見せた。二度、ワイコフは凌辱をうける。そしてその翌日も、次の日も……。  
いつの間にかワイコフは黒人青年の肉体に溺れていく。理性が確実に脱落していったのだ。

この事件が町の人の知るところになれば、ワイコフにはどんな運命が待っているのか。もちろん、このことは露見する。そしてワイコフは苛酷な運命と対決せざるを得なくなる。

ミス・ワイコフの体験を通して、女性の性



というものの、女性の自由というものの、女性の幸せというものを鋭く見つめる問題映画の秀作。

原作は「ピクニック」・「草原の輝き」などを世に送って、一貫してアメリカ人の庶民の悩みや苦しみを描いてきたウィリアム・インジ。彼は61年には「草原の輝き」ではアカデミー脚本賞を受賞した。

監督は「ホロコースト」でいっきに世界に注目されたマービン・チョムスキー。脚色は「フリテイ・ベイビー」のポリ・プラット、出演は主役のワイコフに、プロデューサーのレイモンド・ストロッセの夫人で「女狐」のアン・ヘイウッド。

まわりをドナルド・プレザンス、ロバート・ボーン、アール・ホリマン、キャロリン・ジョーンズ、ドロシー・マローンなどのベテランが固める。音楽はアーネスト・ゴールド。

アメリカ公開時は、ワイコフの暴行シーンのあまりの凄じさに観客は声もなかったと伝えられる。

しかし、不幸を乗り越えて新たな旅立ちに向うワイコフに、共感の嵐がまた止まなかったとも伝えられる。

さよなら、お幸せに。ワイコフ先生！

(上映時間1時間54分)



Good Luck  
MISS WYCKOFF

東京音協11月例回作品 (当日¥1300の処  
¥880)

ヒビヤ みゆき座 (591)  
5357